

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2023年9月1日

第447号



社会福祉法人
小羊学園

住 所 〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P - 4 P...

小羊学園の研修体系
の中で学ぶこと

4 P...

おすすめスポット Vol.9
～KADODE OOIGAWA～

6 P...

放課後デイの夏休み
リレートーク
支える会総会報告
2024年度職員募集
他



様々な研修を通して福祉人としての人間力が高まることを期待しています

小羊学園も法人や施設として、いくつかの団体に加入している。どの団体でも力を入れて取り組んでいることが「研修」ではないかと思う。施設などの実践の場では、虐待防止等の理念的な内容も含め、よりよい支援のための援助技術や専門知識を学ぶ研修が多い。施設の管理運営・経営者向けにはリスク管理・人材確保・人事管理などの内容に関心が高い。

その中で、キリスト教社会事業同盟では「創立の精神の継承」に関する研修が特長的だと感じている。自分たちが携わっている仕事は何のために始められ、どのような思いで継承されてきたのか。変えてはならない大切なものは何なのかを学ぶ研修と言えるのだと思う。

時代はめまぐるしく変化している。「今までと同じ」が通用しない今日、その中でつい目先のことに振り回され新しいことに取り組もうとする。

しかし、本当に大切なことは目に見えないところにある。目に見えないものの中に本当に大切なものがあることを感じられる感受性、その大切なことを信じて反れずに向き合い続ける勇氣と忍耐力、これらの姿勢が養われるような研修が進められることを期待している。

稲松義人

利用者も職員も成長できることを願って

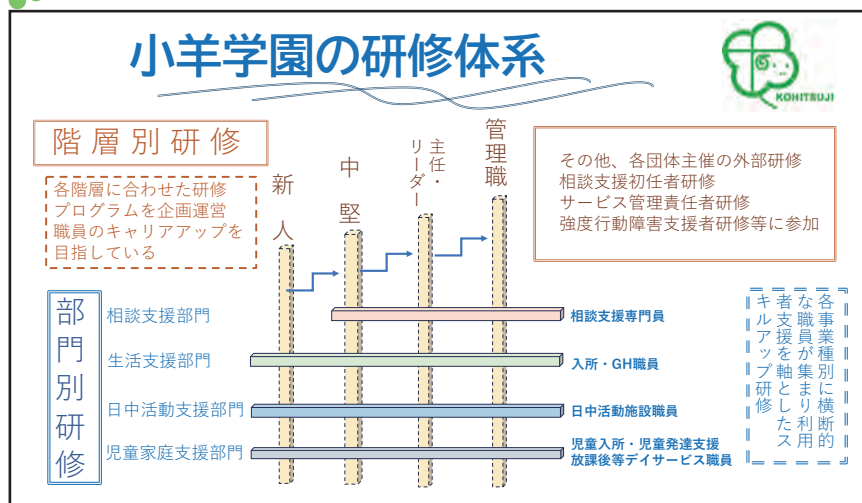
小羊学園の研修体系の中で学ぶこと

小羊学園
研修研究委員会

小羊学園では、職員の育成にあたって階層別の研修を行っています。福祉人材の確保と定着が課題となっている今日、職員一人ひとりの福祉現場でのキャリアパス構築が益々、重要になっています。

福祉を学んできた職員も、そうでない職員も、利用者支援に必要な知識や心構えを段階的に学んでいける研修を設定しています。日々、利用者との関わりを重ねながら、今の自分に期待される役割の理解と、その役割を果たすための能力、スキルの習得が一番の目的です。職員のスキルアップは、利用者の笑顔に必ず繋がります。

利用者も職員も互いに成長する事を願って研修研究委員会は、法人内研修体系を再考し続けます。今回は、小羊学園での階層別研修や部門別研修をご紹介します。



階層別研修

新人研修

【浜松地区】新人研修

浜松地区での新人研修は「法人内事業所見学」「1日研修」「新人職員向け研修動画視聴」の3つの研修で構成されています。「法人内事業所見学」は4月の入職翌日に浜松地区内の事業所を見学し小羊学園の支援員としての心構えについて学んでいた

だいております。「1日研修」では入職しておよそ6か月後に「仕事の楽しみと悩み」について、先輩職員を交えて新人職員同士グループワークを行っています。「新人職員向け研修動画視聴」ではサポーターズカレッジという研修動画の新人職員シリーズ



サポーターカレッジの座学後
グループワークで学びを深めます

ズを年間9回にわたって視聴。新人職員に必要な福祉のスキルについて学んでいたいております。入所・通所・成人・児童と新人職員が配属される事業所はそれぞれですが、どの事業所でも同じ学びができるようプログラムされています。

【静岡地区】新人研修

静岡地区では入職直後のオリエンテーションと、およそ3か月後に「重症心身障害者を支援する上で必要な知識を学ぶ」ことを目的に、3か月間の自分を振り返り、新人職員として今できること・やるべきことを考える研修を実施しています。午前は「重症児のライフステージについて」の動画を視聴。午後は「働き始めてうれしかったことや困ったこと」をグループワークし、「明日からできること」について目標を立てる研修を実施しています。また、移動や食事など介護技術についても食事介助体験等を通じて学ぶ機会を設けています。

ひと昔前は「仕事は（新人職員が）見て学ぶ」時代もありましたが、新人職員も安心して働き続けられる環境を整えることが、より良い利用者支援の一步になると信じ、毎年フレッシュな顔と向き合っています。

中堅研修(3-6年目)

中堅研修は年に1回全事業所の職員を対象とし実施しています。今回は3年ぶりの参加者全員での参集研修。オンライン研修とは違い、熱量の違いを感じ、参集での研修の意味を改めて知ることができました。

「自分自身を見つめ、よりよい支援を目指す」と題して、これまでの日々の支援を自己評価して、仲間たちと課題共有し見詰め直す機会としました。自身の強みや弱みを確認し、自己目標を掲げ、具体的に行動に移すことを自分の言葉で表現することで責任が伴い、今後の支援や行動に繋がっていくことを期待しています。



～自己覚知～
自分を見つめなおす機会

また同時に、一度参加した職員が2数年後に改めて深堀をしていく振り返りグループを設定しています。振り返りグループでは、今後チーム

の中核を担っていく人材として求められている職務定義を確認しています。各グループともに新たな気づきが沢山見出せた研修となりました。

主任リーダー研修

現場支援において、チームを引率する役割でもある主任・チームリーダーを対象に毎年研修を実施しています。現在取り組んでいるテーマは「スーパービジョン」。医療や福祉領域でソーシャルワークなどの現場で用いられている助言や指導の方法です。施設内の体制整備、スキルや知識の習得、モチベーション維持、信頼関係の構築等の効果を期待しながら人材育成をしています。今回の研修を日々の業務に活かし、よりよい利用者支援に繋がるよう期待しています。



スーパービジョン研修の様子
真剣なまなざしです！

部門別研修

生活支援部門

生活を支える立場として、グループホーム職員と入所施設職員が、必要なスキルの習得や事例検討を通して学びを深めています。

本年度は、様々な要因で現れる機能低下に、どのように寄り添ってゆくか？をテーマとした研修を2回開催いたします。

それぞれの部署での【支援員としての寄り添い方】を改めて考える機会とし、必要なスキルや大切にしたい想い、視点について意見交換をします。一人一人の支援に対する視野を広げ、今後の支援に役立てていただける学びの時間にしたいと思っています。

日中活動支援部門

日中活動支援部門は各通所利用者の日中活動について共有を図り、事業所の課題や職員の困りごとについての研修を企画・実施しています。

今年度は、日中活動職員の全体研修、派遣研修を主に実施していきます。テーマは「自分を見直そう(自分の感情をコントロールできるよう

になろう)」ということで、アサーティブコミュニケーションについての研修を実施すべく現在準備を進めています。利用者・他の職員との良好な関係を構築することで日々の支援が充実したものとなるようにしていきたいと思っています。

児童家庭支援部門

子ども達の支援には保育的なスキル、家庭支援、障がいへの理解等様々な知識や技術が求められています。

普段の仕事のなかだけでは身に付けられないものも多く、そういった知識や技術を身につけることができる機会として、また、普段の支援だけでは広げられない視野を広げることができる機会として、研修を企画実行しています。

今年度は9月30日に『社会福祉法人ひかりの園根洗学園』との合同研修が企画されています。法人、施設の垣根なく事例について話し合う中で、他法人他施設の方の考え方や環境を知ることができる機会になると思います。職員にとって良い刺激になることを期待しています。



日中活動支援部門 研修参加者の声

(研修レポートより)

利用者や家族に限らず「聴く」ことがコミュニケーションにとって大事だと改めて感じました。

(デイケアホーム)

グループワークで同じ考えの人がいたり、違う視点で支援を考える人の意見が出ていた中で多角的な視点で支援ができることがよかった。

(マルカート)

改めて傾聴姿勢が大切だと感じました。保護者と良い信頼関係を築くには、伝え方、受け止め方が大事ですね。

(オリーブ)

自分のものの見え方が当たり前ではなく、人それぞれに捉え方や見え方があると実感しました。

(風の丘)

支援現場をリアルに体感できるようなお話で分かりやすかったです。自分の目線と他者の目線が違っていたと改めて感じることが出来ました。

(オリーブ)



人はとてもデリケートで心が浮き沈みするんだと認識し、言葉や態度を意識することで関係性ができると学びました。

(デイケアホーム)

講義が分かりやすかったです。絵を描くゲームでは伝える、聴くのも大変だったが、利用者の立場に立てたと思えました。(わかぎ)

心理学に興味あったので参加できて嬉しかったです。多くの共感があり、あるある〜と思いながら学べました。(マルカート)

小羊学園のお勧め！

障がいのある人にやさしい外出スポット

Vol.9

KADODE OOIGAWA

2020年11月12日にオープンした大井川流域の農作物を集めた、県内最大規模の体験型フードパーク。施設内は、マルシェ、産直レストラン、カフェ、遊び場、お茶の体験コーナーなどがそろい、誰もが楽しめる空間になっています。道路を挟んだ門出駅にも高架橋を通って行くことができます。その際、使用するエレベーターも広くフラット型の車いすが余裕を持って入ります。

【概要】

KADODE OOIGAWA

[住所] 〒428-0008 静岡県島田市竹下62 [電話] 0547-39-4073

[開館時間] 9時～18時 [休館日] 毎月第2火曜日 その他臨時休館あり



5月26日投稿

ゴールデンウィークはどうお過ごしでしたか？

支援センターわかぎのある浜松市では、ゴールデンウィーク期間の5月3.4.5日は大風と屋台引き回しで有名な浜松まつり一色に染まりました。さらに、今年はNHK大河ドラマ「どうする家康」のキャストが市内を騎馬武者行列👤大盛り上がりで、利用者さんも馬に乗ったマツジュンの絵画を制作されました☆



4月20日投稿

こんにちは！三方原スクエア成人部です♪

先日、はままつフルーツパークまでイルミネーションを見に行きました！

コロナ禍ではありますが、屋内は避け、ピークを過ぎたタイミングを見計らうことで感染症の配慮をしています。

少人数のグループを組み、日程をずらしながら全員が参加できるように計画を立てて外出を行いました。

夜間の外出は久しぶりだったこともあり、普段とは違う雰囲気を楽しんでいました(^^♪



今年もすでに9月！ あっという間に時が経っている感じですね。ここでは小羊学園公式SNSで紹介している投稿から、いくつかご紹介します♡
各施設で色んな行事や日常生活が垣間見えますよ

小羊学園 2023前羊ピックアップ



7月7日投稿

在宅支援センターぱびるすです♪じめじめとした日が続き梅雨明けがとても待ち遠しく感じるこの頃ですね。ぱびるすのこどもたちは七夕にむけて絶賛制作中でーす(#^^#)ぱびるすでは、保護者に短冊をお渡しして、家族みんなで願い事を考えてもらっています。♪さーて、今年はどんな願い事が書かれているかな？♪



6月9日投稿

つばさ静岡です！

五月のとても気持ちの良いお天気の日、久しぶりに新東名を使って島田市のKADODE OOIGAWAに出掛けました(*^-^*)

車窓からたくさんさんの車や緑を眺め30分程で到着しました🚗

お茶とSLをモチーフとした施設であり、とてもきれいで広い空間の中で車椅子でもスムーズに散策できました。



小羊学園 Facebook / instagram やってます！

Facebook

Instagram

法人内各施設の日常やイベントを紹介しています！
フォロー・いいね
励みになります😊



KOHITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.27

ふなはし のぶ
舟橋 暢さん

1992年入職
三方原スクエア児童部・成人部
施設長


Q小羊学園を志した動機は？

高校生の時に重症心身障害
児・者施設でボランティア
をした事がきっかけです。
前回の中西さんと全く動機
が一緒ですね。

Qこの仕事の嬉しいことは？

利用者や家族、職員の笑顔に触れられる事です。
生活支援員の頃は、利用者との散歩が楽しみで
した。

Qちょっとプライベートを教えてください！

山登りが好きでアルプスに出かけます。目標は
月に1度。
愛犬(ラブラドルレトリバー)と過ごす時間が
癒しですね。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

温心寮の江田さとみさんにバトンをつなぎま
す。犬が大好き同士ですので、一緒に散歩に出
かけたいですね。

今年も暑かった～(；▽；)

夏はやっぱり水遊びだよ～😊

連日の猛暑日続きでクタクタになりそうで
すよね。そんな時には涼を求めて水遊び♥

放課後等デイサービスでは、子どもたちがプー
ルで泳いだり水を掛け合ったりして大喜び。

自然と溢れ出す笑顔に職員も癒されてます
みなさんは、どんな夏を過ごされたのかな？


支える会 総会報告

7月29日(土)に「2023年
度小羊学園を支える会総会」が支
援センターわかぎ会議室で行わ
れ、運営委員や職員併せて23名が
参加しました。

はじめに石井佑二会長からご挨拶をいただいた後、前年度の各施設からの事業報告・決算報告、規約の変更、新運営委員の選出、寄付金の使途報告、法人の広報活動などが話されました。小羊学園を支えてくださるお一人おひとりに感謝です。

2024年度 新規採用職員
募集要項のご案内

社会福祉法人小羊学園では2
024年4月採用の職員を募集
しています。

障がい福祉に興味のある方、福祉の道を考えている学生の方、お気軽にお問い合わせください。詳しくは法人HPをご確認ください。
○問合せ 法人本部 担当：古橋

☎053-584-3337

法人HP募集要項

QRコード



小羊学園を支える会

2023年度 寄付金報告

6月～7月分 595,300円 (32件)

累計 1,200,899円 (53件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785

口座名義 社会福祉法人小羊学園

ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785

口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)

小羊学園法人本部 ☎053-584-3337

あ と が き

2040年には地球を離れ定住の月面社会が現実的になるという、驚きの報道を見た。社会生活維持のために月面で水を生成できたり、野菜栽培も可能な技術をすでに獲得しているようだ。人間の叡智とは何てすばらしいと思いつつも、母なる地球の深刻な地球温暖化に背は向けられない。未来の地球人が地球を捨てて月や他惑星に移住するなんてことにならないよう、地球のためにできることを皆で考え実行したいと思った報道だった。
酷暑が続く近年ですが、皆さまどうぞご自愛ください。
(F)